

令和6年度「青森市小牧野遺跡保護センター及び青森市小牧野遺跡観察施設」に係るモニタリング評価結果（第2回）

青森市小牧野遺跡保護センター及び青森市小牧野遺跡観察施設については、一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年1月14日

施設名	・青森市小牧野遺跡保護センター ・青森市小牧野遺跡観察施設
設置目的	小牧野遺跡及びその周辺区域の保護の推進を図り、もって市民の文化的向上に寄与すること。 ・青森市小牧野遺跡保護センター：出土品の展示や保管、遺跡情報提供 ・青森市小牧野遺跡観察施設：遺跡及び自然環境の保全・観察機能
所在地	・青森市小牧野遺跡保護センター：青森市大字野沢字沢部108番地3 ・青森市小牧野遺跡観察施設：青森市大字野沢字小牧野41番地
指定管理者	【名 称】一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会 【代表者】代表理事 竹中 富之 【住 所】青森市大字野沢字沢部108番地3
指定期間	令和2年4月1日 から 令和7年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	適正な職員配置となっているか。	仕様書どおり適正に行われている。常勤職員として、経理や事務を担当する者に加え、遺跡の保存・活用に関する知識・経験を有する職員を配置し、専門性を高めている。	○	
	職員の研修が実施されているか。	仕様書どおり適正に行われている。指定管理者自らによる研修、特に遺跡の専門知識や接遇研修等を積極的に実施し、実施記録が一覧で記録・簿冊化され、職員間の情報共有がなされている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	仕様書どおり適正に行われている。毎日の施設巡回・目視点検を実施しているほか、台風等の自然災害の発生が予測される場合は、未然の防止策を講じ、担当課へ随時状況報告をしている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応は的確か。	仕様書どおり適正に行われている。青森市教育委員会災害対応マニュアルに加え、独自に危機管理マニュアルを作成し、職員研修を行い、緊急連絡網も職員全員が見える位置に掲示している。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	仕様書どおり適正に行われている。指定管理者独自の個人情報保護規程とともに、本市の個人情報保護条例に則した対応をしている。	○	
	環境保全（省エネ、省資源等）に努めているか。	仕様書どおり適正に行われている。毎月のエネルギー使用量を表にして確認し、来館者がいない時は、照明や冷暖房の温度設定を必要最低限にとどめるなど、省エネに取り組む姿勢が徹底されている。	○	
運営について	市民の平等利用が確保されているか。	仕様書どおり適正に行われている。特定の団体の利用に偏らないことを意識した、公正公平な対応をしている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	仕様書どおり適正に行われている。館内にアンケート箱を設置するなど要望・意見等を集め、定期的に表にまとめて職員間で情報共有し、必要に応じて担当課と協議し、運営の見直しを図っている。	○	
	事業は、施設の設置理念に沿い、計画的に実施されているか。	仕様書どおり適正に行われている。施設の設置理念に基づいたイベント等を開催し、地域住民や有識者、関係団体等との積極的な連携を図っている。	○	
	利用者のニーズに合致した魅力あるサービスを提供しているか。	仕様書どおり適正に行われている。小学生を対象としたイラストコンテストや縄文文化・自然をテーマにしたワークショップなど、イベントが好評を得ている。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については、いずれの項目においても適正と認められる。

イベント等の開催にあたっては、地域住民や関係団体等との連携を図りながら、SNS等によって小牧野遺跡の魅力を発信し、話題性に富んだイベントを開催することで小牧野遺跡の認知度を高め、縄文文化の理解や遺跡の保護意識醸成に努める姿勢がうかがえる。

今後においても、施設の適正な管理はもとより、施設の設置目的を踏まえ、世界遺産となった構成資産であることを念頭に置きながら、遺跡の適正な保護に努めるほか、魅力あるイベント等を開催するとともに、一層効果的な周知・広報を期待する。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】青森市教育委員会事務局文化遺産課

【電 話】017-718-1392

【メール】bunkaisan@city.aomori.aomori.jp